

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

「住まう人の人生を想う。」をコンセプトに、ゼロエネルギー住宅、高性能住宅の普及促進を通じて、全ての人に健康で安心安全な住環境を提供する。日本の住宅をフロー型からストック型へと変化させ、持続可能な開発目標SDGsの実現に貢献できる企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	電気自動車の増車	電気自動車保有台数 2023年度:1台→2026年度2台
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	ゼロエネルギー住宅の普及	自社着工棟数に対するZEH割合 2023年度80%→2026年度100%
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	女性の中途採用による活躍促進 (離職者を減らす)	①女性の中途採用人数 2023年度2名→2026年度までに3名 ②離職者人数 2023年度1名→2026年度0名

<パートナーシップ>

「未来に残す家づくり研究会」に加盟し、このグループで「地域型住宅グリーン化事業」に採択されている。地域材の活用や、省エネ住宅の推進を行い、省エネ性能や耐久性等に優れた木造住宅の供給拡大に努める。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	統一部材の活用による産業廃棄物の削減目標を上回って達成できた	2年以内での統一部材への変更 1棟あたりの産廃の15%削減	2023年度 1棟あたり20%削減
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	ゼロエネルギー住宅の普及目標を上回って達成できた	自社着工棟数に対するZEH割合 2023年度までの目標70%	2022年度90% 2023年度80%
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	女性の中途採用は2名採用できたが、応募が少なかったため目標は未達だった	2023年度までに3名採用	2023年度2名採用 (うち1名離職)

- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。